

令和7年5月12日【いじめ防止】

まず、先週のいいところみつけたよですが、4年生の横のトレイのスリッパがとてもきれいに並んでいました。ぜひ、どこのと入れもそうなってほしいなと思います。

先週のお題は、もともと生き物ではない食べ物、飲み物って何があるでしょう？でした。たくさんの解答をいただきありがとうございました。多くのお友だちが書いてくれていましたように、塩、水が答えになります。答えていただいたみなさん、ありがとうございました。

さて、本日は大阪市の「いじめ・いのちについて考える日」ということで、いじめをやめましょうというお話をします。

何をしているところのイラストでしょう？そう、いじめをしています。(いじめ＝自分より弱い者に対して、暴力やいやがらせをして、相手の体や心にいやな思いをさせること)もちろん、みなさんはこんなことをしていないでしょうね。

また「こいついじるとおもしろいねん。」などという人もいますが、人をいじるのもいけません。なぜなら一方的になっているからです。いじめも、いじりもいじめる人がいじめられる人にはなりません。

もし今、いじめられている人がいたら、先生やすぐに周りの大人にいいましょう。一人で抱え込まないことが重要です。いじめは、まわりの大人が知るだけで解決できることがたくさんあります。よろしくお願いします。

では、なぜ「いじめ」はなくならないのでしょうか。

周りの人と聞き合ってみましょう。

校長先生は、人の心がある程度耐えることができることがいじめがなくなるという理由の1つと思います。

この風船も、すこしぐらいスティックが入ってもすぐには割れません。でも、どんどんスティックが突き刺さっていくと、いつかは割れてしまいます。

人の心も同じで、一度や二度の悪口やいじりではがまんします。なぜがまんするのでしょうか？それは、その子に嫌われたくないからです。

いじめている人も相手が我慢しているとは知らず、それほど嫌がっていないので、どんどんいじめていきます。でも、それが毎日続くと、風船が割れるように、心が割れてしまいます。

本当の勇気ってなんだと思いますか？高いところから、ジャンプするなど危ないことをすることでも友だちの前でええカッコ見せることでもありません。いじめているともだちに「いじめたらあかん！」と注意する心を勇気といいます。

みなさんのまわりで、一歩的に悪口を言われたり、たたかれたりいじられたりしている人はいませんか。「いじめたらあかん！」と勇気をもって注意しましょう。

今週のお題、あなたが考えるいじめをなくす方法を教えてください。

今日も静かに話を聞いていただき、ありがとうございました。